

パレンバンデー 記念講演会

主催：「空の神兵」顕彰会（名誉会長：加瀬英明、会長：奥本康大）

主旨：昭和17年2月14日、突如インドネシア、パレンバンに真っ白な落下傘の華が開いた。この奇襲作戦により、大東亜戦争緒戦に大量の石油が確保出来、戦況を優位に展開出来たことを知る人は少ない。

この歴史の真実を知り、現在の日本のエネルギー問題と防衛問題について認識を深め、戴く。また国民として果たすべき役割について、政治問題に詳しいパネラーのご意見を伺い、日本の今後を考える。（2月14日をパレンバンデーとし、イベントを毎年開催予定。）

○日時：平成30年2月14日（水）17:30～19:30（開場：17:00）

○場所：憲政記念館（講堂）

東京都千代田区永田町1丁目1-1（03-3581-1651）

○参加料：2,000円（お一人様）⇒お申込は下記にお願いします。（要：事前予約）

・連絡先：k.okumoto.0715@nifty.com 090-1037-8754（奥本）

○講演内容

・開会挨拶：茂木 弘道（史実を世界に発信する会 会長代行）

・第一部【基調講演】

テーマ：「パレンバン奇襲部隊が果たした役割」

講師：高山 正之

・第二部【パネル討論会】

テーマ：「石油なくして国防なし」（空の神兵から学ぶもの）

パネラー：頭山 興助（呉竹会会長）

西村 眞悟（元衆議院議員（6期））

藤井 巖喜（国際政治学者）

奥本 康大（「空の神兵」顕彰会会長）

進行役：葛城 奈海（防人と歩む会 会長）



・閉会挨拶：菅家 一比古（一般社団法人 美し国代表 理事長）

○後援（順不同）

ワック株式会社、株式会社展転社 株式会社ハート出版 一般社団法人美し国
呉竹会、史実を世界に発信する会、新しい歴史教科書をつくる会、
日本会議東京都本部、二宮報徳会、東京教育研究会、近現代史を学ぶ会

*当日は講師を囲んでの懇親会を予定しています。（@3,500円 要：事前予約）